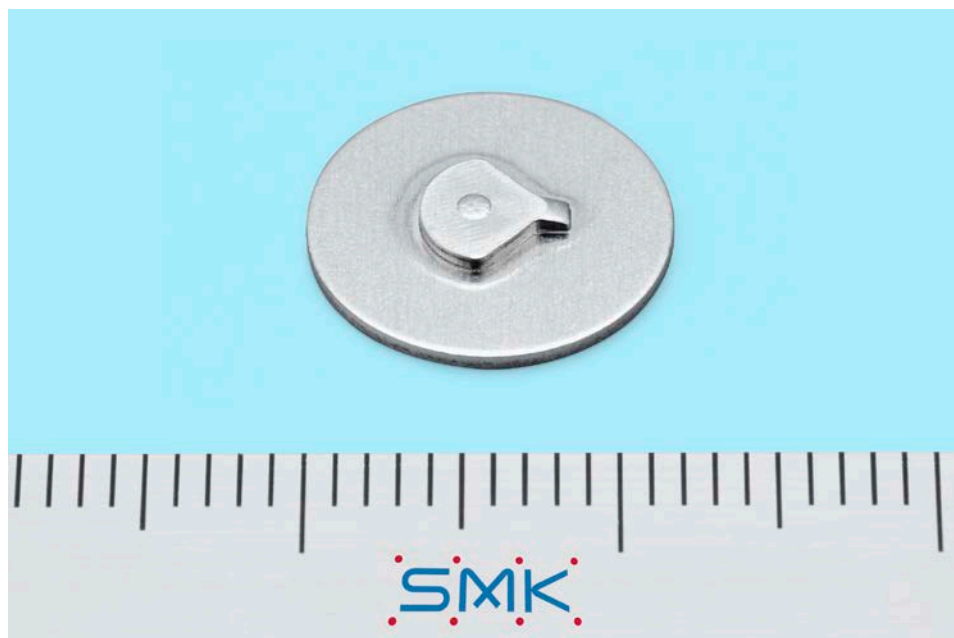


＜新製品情報＞

**新構造による低コスト、高精度のプレス防爆弁を開発
＝リチウムイオン電池市場へ参入＝**

当社はこのほど、リチウムイオン電池向けの「プレス防爆弁」を開発し、受注活動を開始しました。本製品は、プレス工程の少ないシンプルな構造で、低コストかつ高い安定性、信頼性を実現しています。（特許取得済み）


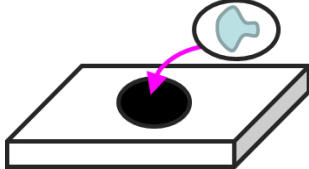
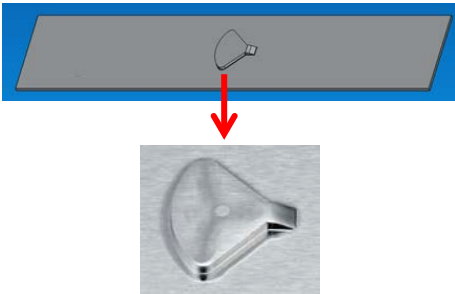

近年、世界的な環境規制の高まりを背景として電気自動車（EV）へのシフトが加速する中、搭載されるリチウムイオン電池の市場も大幅な拡大が見込まれています。

リチウムイオン電池の課題の一つと言われている安全性の向上に貢献するため、従来のコネクタ、スイッチの製造で培ったプレス技術をベースに電池の安全機構である防爆弁を開発しました。

製品としての販売の他、関連特許も含めた特許ライセンス契約にも対応する予定です。またバッテリーのその他部品である電極やケースの製造も可能です。

当社は、リチウムイオン電池市場において、お客様のニーズに応じた様々な形でのソリューションを提案していきます。

*防爆弁：発生したガスによりリチウムイオン電池内部の圧力が異常に高まった場合、弁が破断しガスを逃すことで電池の爆発を防止する機構。

外 観	図 番	タイプ	外形寸法 (単位:mm)
	JD96002-1	小型標準タイプ (カバーに溶接) 	Φ12
	JD3002-1	カスタムタイプ (カバー一体型) 	お客様の 仕様による

*バッテリーのサイズに応じて防爆弁のサイズを変更することも可能です。

【使用用途】

車載用・産業用・家庭用リチウムイオン電池、キャパシタなど

発表日	2017年11月9日	
リリース番号	1091SPD	
製品名	プレス防爆弁 図 番 : JD96002-1、JD3002-1	
特長詳細	<p>1) シンプルな構造とすることによるプレス工程の簡素化と金型負担の低減を図り、低コスト化を実現。 ※構造は特許取得済み。</p> <p>2) バッテリーカバーに溶接して取りつける小型標準タイプと、カバーと防爆弁が一体化したカスタムタイプの2種類に対応。</p> <p>3) バッテリーのサイズに応じた防爆弁のサイズ変更も可能。</p> <p>4) バッテリーのその他部品である電極やケースも製造可能。 ※詳細はお問い合わせください。</p>	
主な仕様	作動圧	0.6±0.2MPa（お客様のご要求に合わせて調整可）
	材質	アルミ（ステンレスタイプは応相談）
	使用温度範囲	-30℃～+55℃
受注活動開始時期	2017年11月	
生産能力	仕様により要相談	
サンプル価格	100円 / 個	
お問い合わせ	お問い合わせはこちら	